



足羽小学校

学校だより

No.5

令和2年11月4日(水)

TEL (0776) 35-3804

FAX (0776) 35-0654

<http://www.fukui-city.ed.jp/asuwa-e/>

日々の忙しさに追われ、学校だよりの発行が止まっておりました。申し訳ありません。

今回は7月末より9月末までの学校の様子を行事中心に報告させていただきます。

今年度は、コロナの影響で3月～5月まで休業した授業を取り戻すため、夏休みを8月1日(土)～16日(日)までとし、例年10月中旬の秋休みは取り止め、変則的な学校運営となっています。

校内体育大会 9月28日(火)

連合体育大会はコロナの影響で、残念ながら中止となってしまいましたが、校内体育大会は、コロナ対策を行いながらの事前練習と当日日程の計画を練りながら、穏やかな転校にも恵まれ、予定していたとおり、9月28日(火)に無事開催することができました。

来賓の方には誠に残念でしたが参加をご遠慮いただき、開会式も校長とPTA会長の短い挨拶にとどめました。保護者の方にも人数制限や応援場所の指定にご協力いただきました。ありがとうございました。種目も各学年の徒競走と低・中・高それぞれの2学年合同の種目競技、応援合戦に限りしました。以上、全日程を午前中におさめ、縮小した形で開催させていただきました。

各競技とも夏休み明けから体育の時間を使って練習を重ねてきました。また、応援合戦は、今年度は密を避けるため、青赤の各色をさらにABの2チームに分け、合計4チームに分かれて行いました。応援リーダーは6年生全員。大声を出せないで、ボトルやウチワ、太鼓など音や動きで工夫した応援を考えました。また、運営は5・6年生の委員会が役割分担をして行いました。今年度、5・6年生にとっては、なかなか全校の中で中心になって活動する機会に恵まれませんでした。この体育大会では、応援を含め責任ある役割を担ったことで、表情もキリリと引き締まり、少し大人びた姿をみることができました。特に応援は、練習中は各チーム統制がとれず、互いにぶつかったり悩んだりしていましたが、当日にはいずれも優劣つけがたい質の高い応援を披露でき、6年生のリーダーシップぶりが輝いていました。短い体育大会でしたが、想い出に残る素晴らしい大会になったと思います。



避難訓練 9月1日(火)

昨年度に引き続き、本校の避難訓練では、教職員や児童の即時対応力を向上させることをねらいに、教職員にも火元や地震による通行不可の場所などを事前に知らせず、実施しました。全員落ち着いて、安全に避難することができました。校庭までの避難が5分以内であり、教職員はもちろん、児童も出火場所や通行不可の場所をしっかりと聞いて、火元や通行不可の場所を避けて、適切に避難ができていました。



その3日後に本県嶺北地区に震度5弱の地震が発生しました。揺れが起こって、全校児童が間髪を入れず机の下に潜り、校内放送をしっかりと聴いて適切な対応ができた姿を見て、訓練の成果が活きていることを実感することができました。

水墨画教室 6年 9月4日(金)



6年生の図画工作の授業に、講師として福井工業大学の吉村先生をお招きして、水墨画をお習いしました。絵の具とは違って、墨の濃淡で陰影を表現する技術を初めは竹を素材に教えていただきました。その後、自分たちの考えた題材でもチャレンジしました。こうした



伝統文化に触れることで、また子どもたちの興味関心が広がってくれるといいなと思います。

かまぼこ工場見学 3年 9月11日(金)

3年生は11日(金)に、社会科の授業として「安田かまぼこ」へ工場見学に出かけました。これもコロナの影響で、なかなか実現しなかったのですが、安田かまぼこさんが感染予防対策を万全に整えてくださり、本校が今年度一番乗りで見学をさせていただきました。

機械化された工場の様子を目を輝かせながら見学した後、「蒲の穂」と呼ばれる蒲鉾の原型や魚そうめんを実際に手作りする体験もしました。みんな時間を忘れてとても楽しく取り組み、できあがったものはお土産として持ち帰りました。自分で作ったものだけに一層おいしかったようです。

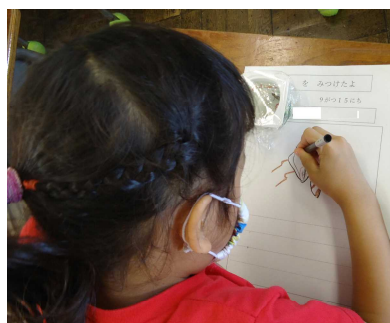
障害者スポーツ出前授業 4年 9月18日(金)



4年生の「総合的な学習の時間」の福祉分野の授業として、県しあわせスポーツ協会の方を講師にお迎えして、ボッチャやサウンドテーブルテニス(視覚障害者用卓球)の体験をしました。どの児童も真剣で、ボッチャを場所に投げる力加減やボールの中に入っている砂の音を頼りにラケットを当てる難しさに四苦八苦しながらも、楽しく取り組むことができました。感想を尋ねられると障害のある人でも難しいスポーツに楽しんで取り組む喜びが

あることを知り、障害のある人に関心を寄せることができました。来年度に延期となったパラリンピックにも興味をもち、当たり前前に障害のある人と共に生きていく社会人に育ってほしいと思いました。

虫見つけ 1年 9月15日(月)



1年生は、生活科の授業として、校庭で虫を捕まえて観察をしました。3年からの理科の生き物の授業につながる単元です。虫が大好きな子も苦手な子も、キャアキャア歓声をあげ、虫を捕まえていました。そのあと、ワークシートに虫の姿をよく観察してスケッチ。日頃見慣れた虫でも、よく見ると、足の付き方やヒゲ(触覚)の長さ、羽の生え方などの違いに気づき、「おひげ、ながっ」「ここの足太い」などと言っていましたね。



光のプレゼント 2年 9月5日(水)

2年生は、図画工作の授業で、家から持ってきたプラスチック容器に、マジックで色をつけ、光を通して見えるかげを楽しみました。予想どおりにきれいに見えたものや、容器の形や凹凸によって、思ってもいないような見え方をしたものなどを見て、様々な歓声が上がっていました。図画工作だけでなく、3年生の理科の光の授業にもつながる単元です。



地域の先輩から学ぶ(1) 5年 7月27日(月)



5年生の総合的な学習の時間では、足羽地区の先輩の方々から学ぶ第一弾として、先輩方しか知らない場所へ連れて行っていただきました。ザリガニ釣り、セミ捕り、泉、井戸、生活で使用していた洗い場などを体験、見学させていただきました。また、瑞源寺の歴史などについても教えていただきました。地域の先輩と交流を深めることで、地域の人々の知識の深さと優しさも学ぶことができました。

<編集後記>

コロナ禍の中、教職員、PTAや地域の方々、関係機関や業者の方々のご協力により、日々の授業や校内外での体験学習が、無事行われていることに感謝しております。次回は11月末発行予定です。

----- 切り取り線 -----

<ご意見欄>